

お盆は、ご先祖さまに感謝をする機会です。ですから、出来る事ならば、そのご先祖さまにご縁のある皆様で、お盆の準備をして頂きたいのです。

時間や心<sup>つか</sup>を遣って、ご先祖さまについて話し合いながら、準備をしてみましょう。

皆様はご先祖さまについて、どの程度ご存じですか？

ご両親を亡くされた方は、先ず自分の1代前であるご両親のお名前はご存じだと思います。では、2代前のおじいさん・おばあさん4人とものお名前はご存じですか？

また、3代前のひいおじいさん・ひいおばあさんの8人全員のお名前を言える方はいらっしゃるでしょうか？

8人全員のお名前をご存じであったならば、それは幸せな事だと思います。

それでは、4代前16人の方々のお名前はいかがでしょう？

逆に、あなたに当てはめて考えみましょうか。

あなたの1代後<sup>あと</sup>であるお子さんは、あなたのお名前を知っているでしょう。2代後のお孫さんにも知っていて欲しいですね。それでは3代後のひ孫さんの代では、知っていると思いますか？さらに、4代後、5代後、6代後となるとどうでしょう？

ご先祖さまを想うとは、この様に、何代も離れた人をも想うという事なのです。

ご縁とは、そういう繋がり<sup>つな</sup>なのです。あなたが知っている人だけではなく、知らないけれど確実に繋がっている只一人が欠けても、今のあなたの「いのち」は生まれていないのです。

そして、あなたがいなければ、子供も孫もひ孫も生まれないのです。だから、あなたの「いのち」は決してあなたひとりのモノではないのです。あなたのそばにいるご両親やご兄弟もそうです。隣の家の人もそうです。みんなそうなのです。世界中の人は皆そうなのです。

誰の「いのち」もその人だけの「いのち」ではないのです。続いているモノなのです。自分だけのモノではないのです。ご先祖さまのモノでもあり、子孫のモノでもあるのです。そう考えると、隣の人「いのち」もその人ひとりのモノではないのです。生まれること<sup>あ</sup>や有(在)り続ける事が簡単ではない、有り<sup>あ</sup>難い<sup>かた</sup>「いのち」なのです。

その「いのち」をあなたに受け渡してくれた、「いのち」の繋がりであるご先祖さま方を想う機会がこの「お盆」なのです。